

ご挨拶

第82回日本公衆衛生学会総会
学会長 田宮 菜奈子
筑波大学医学医療系ヘルスサービスリサーチ分野 教授
筑波大学ヘルスサービス開発研究センター センター長

第82回日本公衆衛生学会総会を2023年10月31日（火）から11月2日（木）に茨城県つくば市で開催するにあたり、皆様にご挨拶を申し上げます。

公衆衛生とは、「共同社会の組織的な努力を通じて、疾病を予防し、寿命を延長し、身体的・精神的健康と能率の増進をはかる科学・技術（C.E.A. Winslow; WHO 1949）」と定義されております。

近年、突如として現れた COVID-19への対応において、まさに共同社会の組織的努力が求められ、公衆衛生の重要性が浮き彫りになりました。保健所、医療機関をはじめ、公衆衛生関係者が多大な力を尽くしているところです。あらためて、第一線の皆様のご尽力に敬意を表します。

COVID-19の試練はまだ続いており、また、世界でも少子高齢化の最先端をいく我が国は、多くの課題を抱えております。今こそ、共同社会の組織的努力の科学・技術としての公衆衛生学を、全国の公衆衛生関係者（行政、大学、研究所、保健医療介護の現場実践者、企業等）のみなさまとともに学びあえる場となればと考えております。

開催地は、常陸の国風土記や万葉集にもよまれた歴史ある茨城県、そしてそのシンボル筑波山を望むひたち野の原野にひろがる研究学園都市「スマートシティつくば」です。

開催年の2023年は、研究学園都市構想から60年、還暦です。そして、筑波大学は創設50周年を迎えます。「常陸野の原野を拓き、真白なる塔そびえたり」（筑波大学学生歌）とありますが、自然と人の英知が融合し、紫峰の下に多くの研究所、企業、大学が集い、積み重ねた日々です。

この時、この地で、皆さまを公衆衛生学会にお迎えできますこと心からうれしく思い、願わくば、この試練を乗り越えた喜びを、皆さまと共に分かち合うことができることを切に望んでおります。

本総会のメインテーマは「実践と研究のシナジーが織りなす保健医療介護サービスの進化と調和」といたしました。

公衆衛生には実践と研究の側面がありますが、実践と研究がこれまで以上にシナジーを発揮することにより、真の人の幸せにつながるヘルスサービスを生み出すと考えます。本学会総会のそこかしこで熱い議論が起こり、シナジーの芽が生まれ、育まれることを希望いたします。

開催地のつくば市は、東京都心からつくばエクスプレスで快速45分と抜群の立地です。足を伸ばせば筑波山、ひたち海浜公園など風光明媚な観光地もあり、常陸牛、あんこう鍋など、茨城県ならではの味覚もお楽しみいただけます。総会へのご参加以外でも有意義な時間をお過ごしいただけるものと思います。

皆さまの本学会総会へのご参加を心よりお待ちしております。

第82回日本公衆衛生学会総会（茨城）のご案内〈第一報〉

1. 会 期
2023年10月31日（火）～11月2日（木）
2. 会 場
つくば国際会議場（茨城県つくば市竹園 2-20-3）
3. 名誉学会長・名誉顧問・学会長・副学会長・監事
名誉学会長：大井川和彦（茨城県知事）
名誉顧問：五十嵐立青（つくば市長）
学会長：田宮菜奈子（筑波大学医学医療系ヘルスサービスリサーチ分野教授
筑波大学ヘルスサービス開発研究センター長）
副学会長：鈴木邦彦（茨城県医師会長）
副学会長：森川博司（茨城県保健医療部長）
副学会長：小室伸一（つくば市保健部長）
顧問：永田恭介（筑波大学長）
監事：前川吉秀（茨城県保健医療部保健政策課長）
監事：中根英明（つくば市保健部次長）
4. メインテーマ
実践と研究のシナジーが織りなす保健医療介護サービスの進化と調和
5. プログラム（予定）
学会長講演，特別講演，メインシンポジウム，シンポジウム，フォーラム，奨励賞受賞講演，国際参加賞受賞講演，教育講演，感染症リスクアセスメント研修会，ランチョンセミナー，スポンサードセッション，一般演題，自由集会，各種展示，自由集会，意見交換会，市民公開講座等
6. 学会総会ホームページ
<http://jsph82.umin.jp/>
7. 事務局
事務局（実行委員会，学部部会含む）：
筑波大学医学医療系ヘルスサービスリサーチ分野内
8. 各種申込期間（予定）
公募シンポジウム募集期間 2023年3月14日（火）～4月14日（金）
演題募集期間 2023年4月4日（火）～5月23日（火）
事前参加登録期間 2023年4月4日（火）～8月31日（木）
9. 今後の情報
日本公衆衛生学会雑誌70巻2号および学会総会ホームページ（上記）で順次お知らせ致します。